

その原因、現場だけで済ませていませんか？

個人と組織で「なぜなぜ分析」に取り組んでみませんか。

サンプル・事例

ヒヤリ・ハットの
状況

丸太を重機で運搬中に、
重みにより重機のキャタピラが浮き上がり谷に落ちそうになった。

原因分析

重機の能力を超えた量を丸太の運搬であった。

再発防止策

重機の能力を超える量の丸太は運ばない。



落ちそうになるとは想像
できなかった…



適量は
どのように
確認
するの？



期限に間に
合わない！

現場だけの
責任か？

原因分析では、
「なぜそうなったのか」「なぜ、そう考えたのか」を洗い出していきましょう。



原因は一つとは限りません。まだ見えていない本当の原因があるかもしれません。
洗い出した原因を、もう一段深く考えてみましょう。



困っていることや、わからないことを
理由も含めて丁寧に聞いてみよう。



他の班(組織)の取り組みを、
理由も含めて聞いてみよう。



現場だけの課題ではないな。
現場・プランナー・経営者が
連携し、この組織に合った
解決策を考えよう。

全員で
「安全管理のしくみ」
をつくろう！

